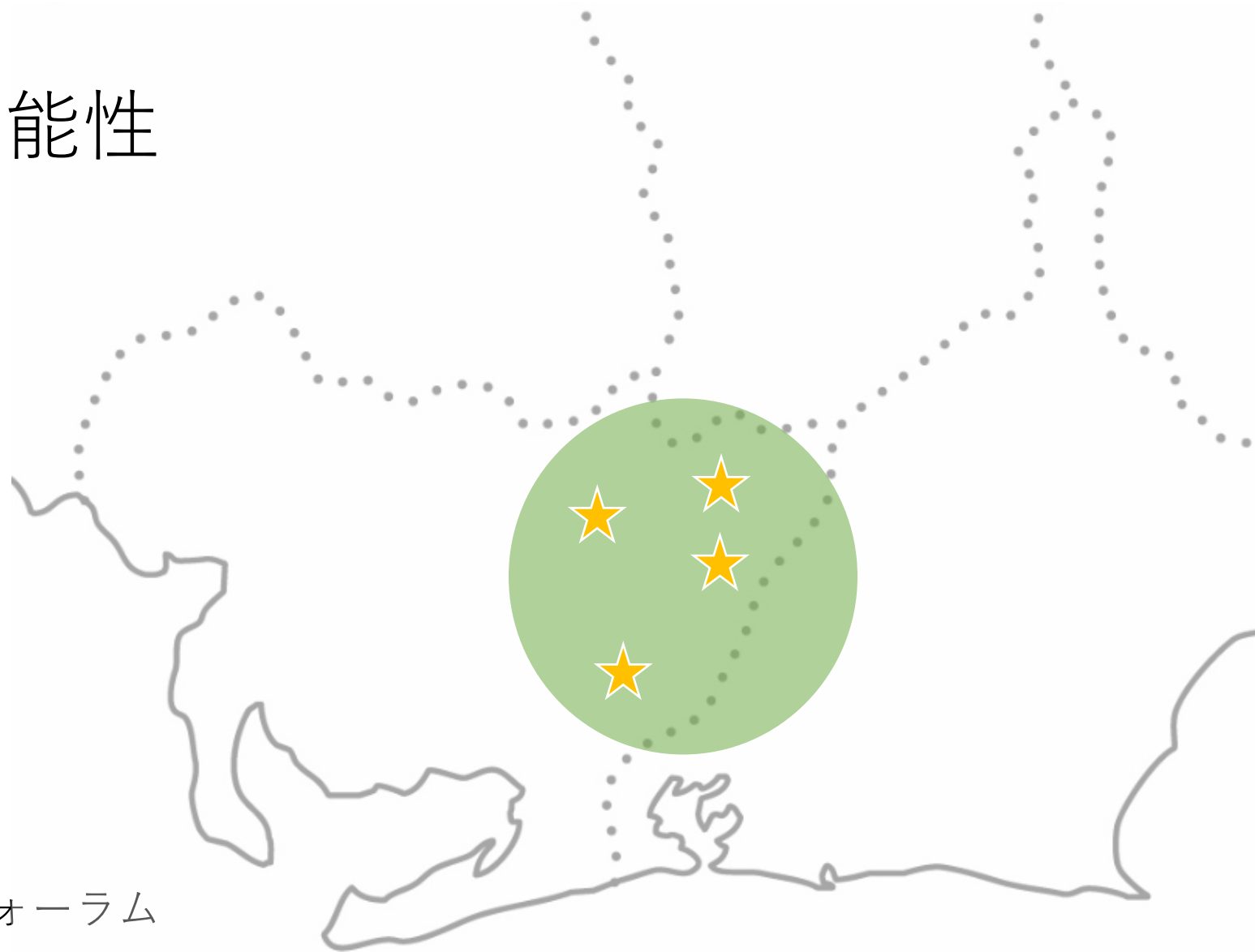


発題

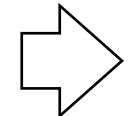
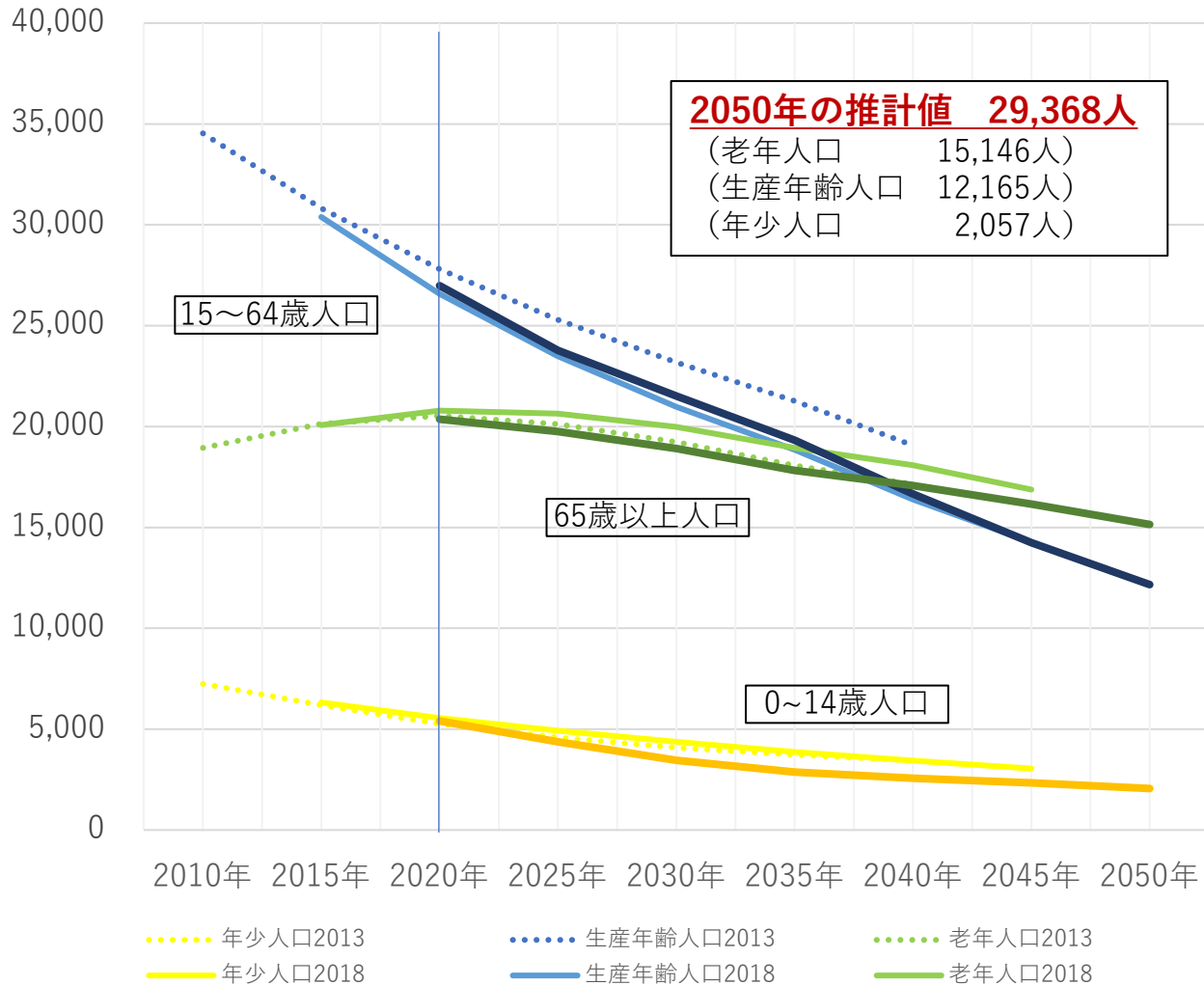
# 縮減社会の持続可能性



一般社団法人奥三河ビジョンフォーラム  
専務理事 田村太一

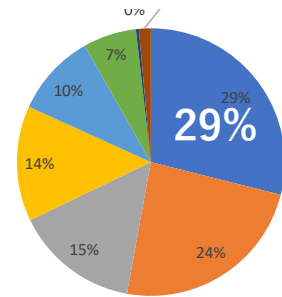
## 奥三河の将来人口推計値

(2013年・2018年・2023年推計値の比較)



### 経済

#### ◆後継者不足



現在の事業を継続するつもりはない  
 (自分の代で廃業を予定している)

出典：会員事業所における経営実態・景況・支援ニーズに関するアンケート調査  
 (令和5年度) (新城市商工会)

- ◆人手不足による廃業
- ◆外国籍住民の増加

### 教育

#### ◆教育機関の再配置

	小学校	学級数	(複式)	1年生	6年生
新城市	13	126	4	256	346
設楽町	4	19	8	15	30
東栄町	1	8	0	10	17
豊根村	1	7	1	11	4

出典：令和6年度あいちの教育統計(速報)より数値を引用

### 公共施設

#### ◆インフラメンテナンスコスト

「公共建築物」  
 庁舎、小中学校、こども園、図書館、  
 消防署、博物館、ごみ処理場ほか  
 「インフラ」  
 道路、橋梁、上下水道、農業用施設

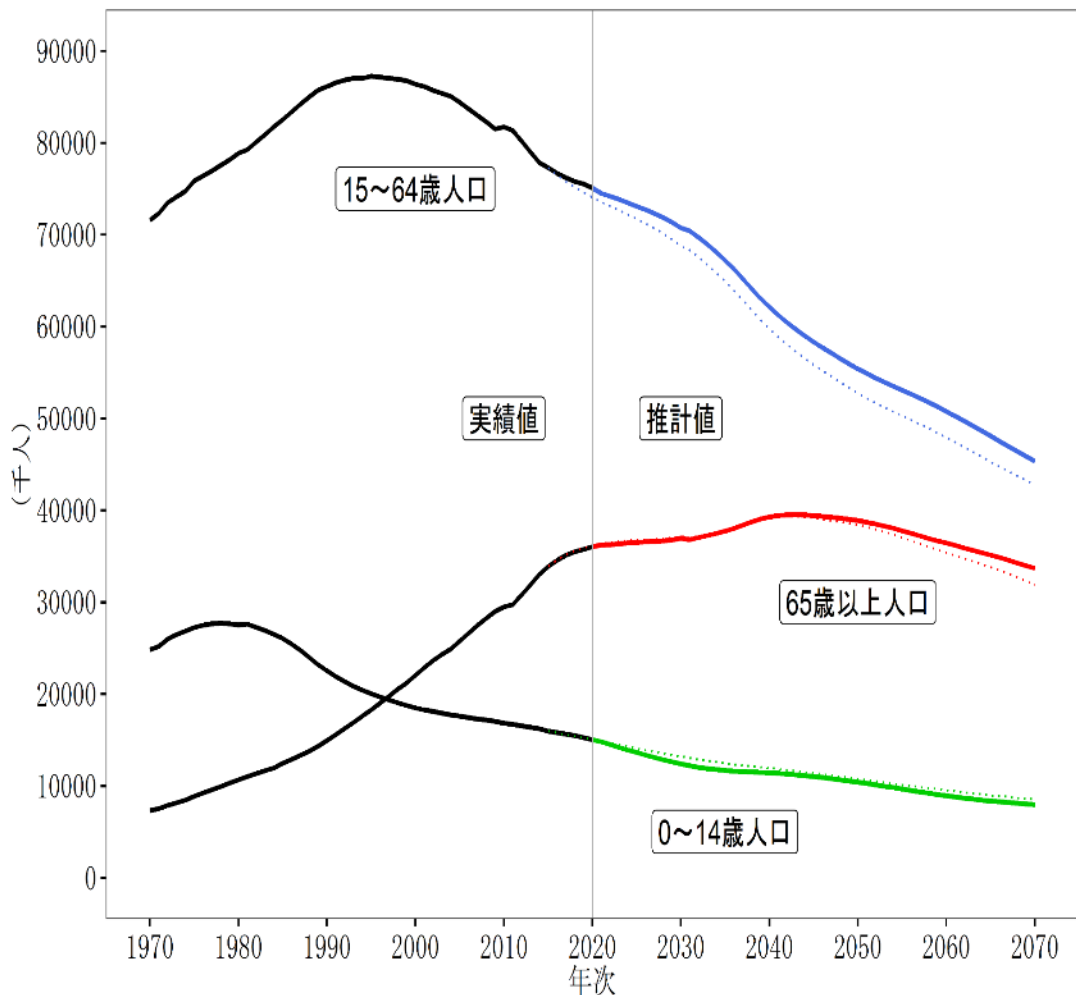


#### ◆その他にも地域自治や公共交通など課題は山積

出典：国立社会保障・人口問題研究所 - 「将来推計人口・世帯」 - 「日本の地域別将来推計人口(都道府県・市町村)」  
 - 「男女・年齢(5歳)階級別の推計結果一覧」より数値を引用しグラフに加工

## 日本の将来人口推計値

図1-3 年齢3区分別人口の推移—出生中位(死亡中位)推計—



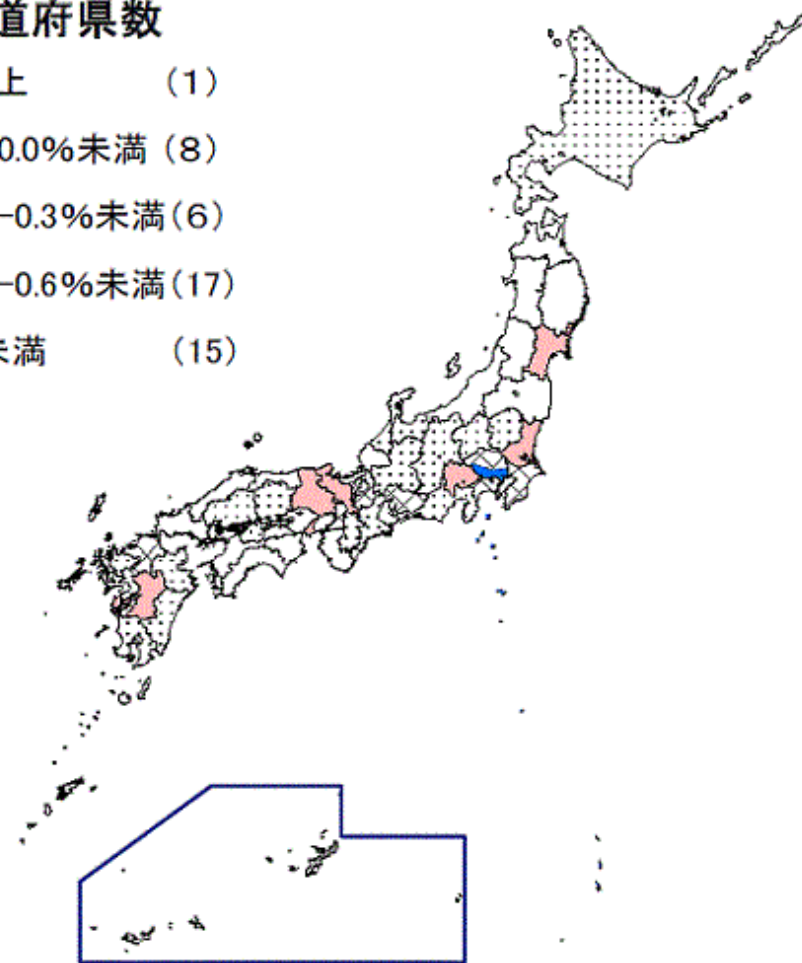
破線は前回中位推計。

図4 都道府県別人口増減率

## 人口増減率

( )内は都道府県数

- 0.0%以上 (1)
- 0.3 ~ 0.0%未満 (8)
- 0.6 ~ -0.3%未満 (6)
- 0.9 ~ -0.6%未満 (17)
- 0.9%未満 (15)





# 『縮減社会』の地域生活圏モデルを

2024/12/23 奥三河ビジョンフォーラム決算総会基調シンポジウム

シンポジウム「縮減社会のまちづくり」～軽トラ市から考える、固定・可動・仮想のベストミックス～

奥三河ビジョンフォーラム決算総会基調シンポジウム

## 縮減社会のまちづくり

～軽トラ市から考える、固定・可動・仮想のベストミックス～

しんしろ軽トラ市「のんほいロット」は、今年で16年目を迎えました。「山濃馬浪」とうたわれた新城の町の賑わいを取り戻そうと始められた軽トラ市ですが、この間に被災地支援、全国の軽トラ市・大手自動車会社との連携など、数々の気づきやつながりを与えてくれました。とりわけ、「動く商店街」という新しい業態は、商圏や市場の定義を拡張しました。人口減少によって事業の存続や生活基盤の維持が困難となった中山間地域に新しい可能性を示し、様々な派生事業も生まれています。シンポジウム「縮減社会のまちづくり」では、この軽トラ市を起点に、奥三河における地域生活圏のあり方を考えてみたいと思います。

聴講  
無料

基調講演

### 奥三河から縮減社会の地域生活圏モデルを

- 講師 愛知大学地域政策学部教授  
三遠南信地域連携研究センター長 戸田 敏行

戸田 敏行

パネルディスカッション

- コーディネータ 愛知大学地域政策学部教授  
三遠南信地域連携研究センター長 戸田 敏行
- パネリスト スズキ株式会社  
次世代モビリティサービス本部 次世代モビリティサービス事業部 事業企画課 課長 松本 祥弘
- 新城ののんほいロット ワーキングリーダー 森 一洋
- 愛知大学地域政策学部 戸田ゼミナール 4年 森 悠里香

2024年 12月23日(月) 新城観光ホテル 東館

18:00 一般受付      【オンライン】Zoom 会議室  
18:15 シンポジウム      ミーティングID: 661 949 9787  
20:00 情報交換会 (20:45 終了予定)      PASS: wscsd567



本日のテーマ

持続可能な奥三河を形成するための  
「**地域政策**」と「**自治体間連携**」について考える

